

## 森林・林業の 振興と発展に向けて

参議院議員(全国比例)  
元農林水産大臣政務官

食  
農山漁村は  
未来への礎

# 宮崎まさお

自由民主党参議院比例区支部長  
元農林水産省農村振興局地域整備課長

これまで現場を通じて育てていただいた私にとって、地域の課題、現場の課題を解決することが役割と考え、次の項目にこれからもしっかりと取り組んでまいります。

- 1 「伐って、使って、植えて、育てる」  
林業を通じた山元への還元
- 2 林業を担う人材の確保・育成と安全対策の充実、  
女性が働きやすい環境の整備
- 3 林業の発展と森林吸収源対策のための森林整備、花粉症  
対策、国土保全のための治山に必要な予算の安定的確保
- 4 国産材利用の拡大と持続的・安定的な供給体制の構築
- 5 森林環境譲与税の有効活用と  
森林・林業への国民の理解づくり

令和3年6月、森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げ、2050カーボンニュートラルも見すえた豊かな社会経済の実現を目指す新たな「森林・林業基本計画」が策定されました。

森林・林業  
基本計画の  
五本柱

- ① 森林資源の適正な管理・利用
- ② 「新しい林業」に向けた取組の展開
- ③ 木材産業の競争力の強化
- ④ 都市等における「第2の森林」づくり
- ⑤ 新たな山村価値の創造





## 宮崎まさおの政治活動の原点は現場主義

現場主義をモットーに全国各地の林業の現場・山村に足を運び、皆さまからの生の声を丁寧にお伺いしています。山元への還元を図るため、造林や育林に係るコストの低減、シカなどの獣害問題、林業に携わる人材の確保・育成、林業労働の安全対策、木材価格の低迷等の様々な課題に対処しなければなりません。



令和4年3月7日 岐阜県下で森林組合の皆様と意見交換を実施



令和4年6月6日 鳥取県下で森林組合の皆様と挨拶

## 喫緊の課題を政治の場で発信

国会や自民党において、これらの課題解決に向けて全力で取り組んでいます。  
岸田内閣において令和3年10月から令和4年8月の間、農林水産大臣政務官として、林業政策を政府の立場から推進しました。

### 参議院予算委員会（集中審議） 令和5年3月27日

岸田総理に対し、グリーントランスフォーメーション（GX）実現に向け、農林水産業、特に林業が大きな役割を担っていることを主張し今後の取組について質問。

#### 【内閣総理大臣（岸田文雄君）】

GXが目指すこの脱炭素と経済成長の両立、こうした観点からは、農林水産業はまさに温室効果ガスの吸収源であると同時に地域を支える産業そのものである、そうした重要な意義を持っていると考えます。このため、GXに向けた研究開発の促進なども含め、脱炭素と地域経済を支える農林水産業の振興にしっかり取り組んでまいりたいと考えております。



### 参議院予算委員会（集中審議） 令和6年3月8日

岸田総理に対し、国土強靱化を進める上では、国土の3分の2を占める森林が健全であることが必要。このため、森林整備、人材確保・育成等を進めるべきと主張し、森林・林業の発展に向けた取組について質問。



#### 【内閣総理大臣（岸田文雄君）】

森林を適切に管理しつつ林業、木材産業の持続的な成長を図るため、切って、使って、植えて、育てる、こういった森林資源の循環利用を進めていくことが必要です。

森林組合を始め意欲ある経営体への集積、集約化等を通じた効率的な経営の実現、スマート林業の推進、緑の雇用事業による段階的、体系的な人材確保、花粉症対策のためのスギ人工林の伐採、植え替え等の加速化と森林整備、国産材の利用拡大、こうした政策を総合的に推進することによって森林、林業の発展に取り組んでまいりたい。



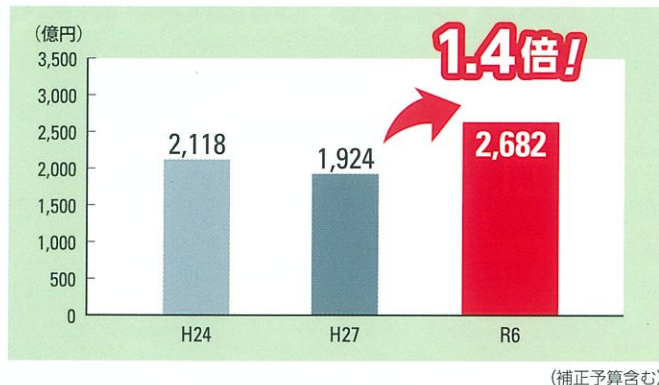
## 林野公共関係予算を安定的に確保

3月28日の参議院本会議で可決・成立し、今年度においても所要の林野公共関係予算を確保しました。

1,924億円 [平成27年度] ⇨ **2,682億円** [令和6年度]

平成27年度比 139.4%

林野公共関係予算の推移



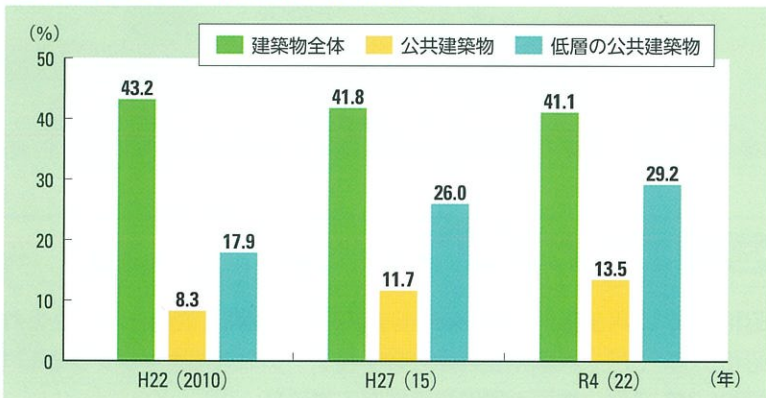
## 国産材利用の拡大

公共建築物の木造化については、低層の建築物を中心に着実に推進が図られています。

都市（まち）の木造化推進法により対象が建築物一般に拡大され、建築物木材利用促進協定については、令和6年3月時点で企業・団体等と国の締結数が16件、地方公共団体との間では109件、合計125件に達しました。

今後とも協定制度の普及等により国産材利用の拡大に努めてまいります。

建築物全体と公共建築物の木造率の推移

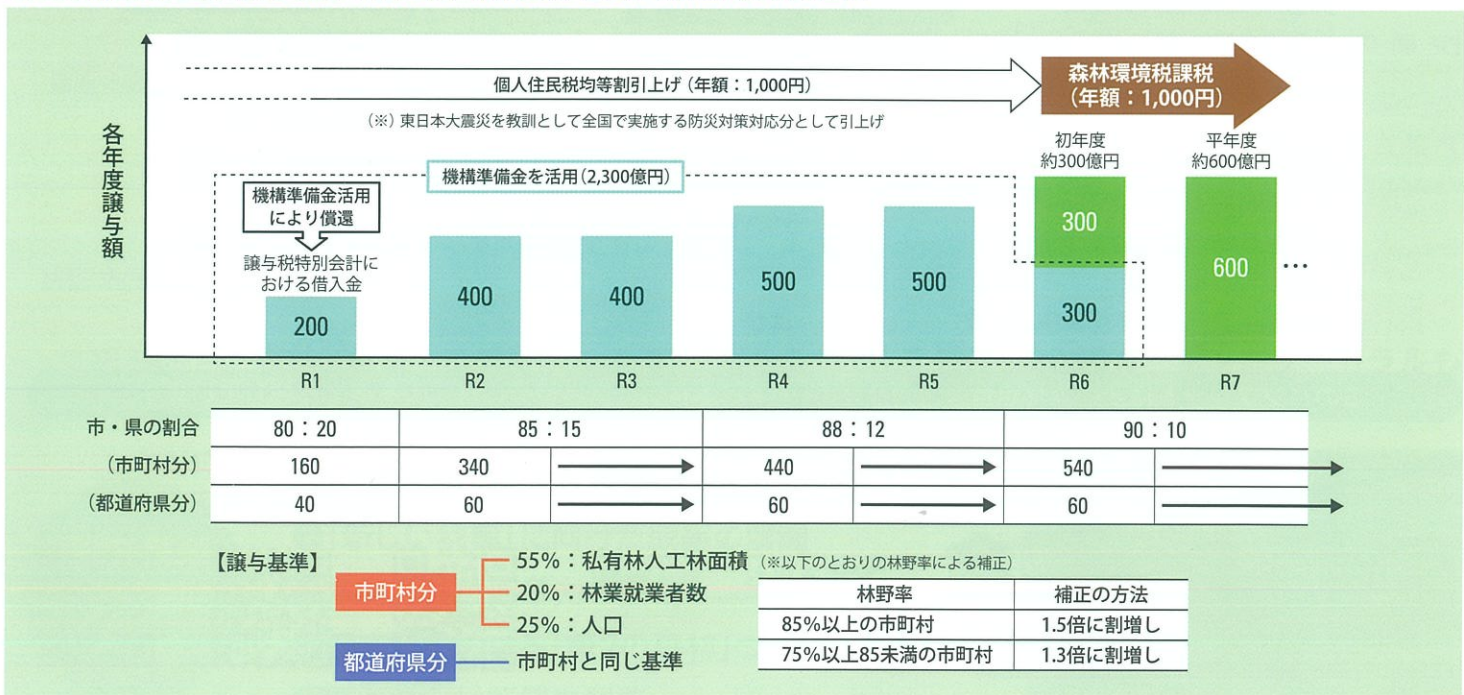


資料：林野庁ホームページ「令和4年度の公共建築物の木造率について」

## 森林を守る「森林環境譲与税」

令和元年度から市町村及び都道府県に対し、私有林人工林面積、林業就業者数、人口により按分（R6より基準を見直し山元へ手厚く配分）して森林環境譲与税が譲与されており、令和6年からは森林環境税の徴収が始まります。この財源を利用して、間伐等の森林整備や人材の育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及・啓発等の取組が進展するよう努めてまいります。

森林環境譲与税の譲与額と市町村及び都道府県に対する譲与割合及び譲与基準





# 今後も、森林・林業に関する財源・予算を確保していくとともに、 現行制度の拡充・見直しや新たな制度の創設に力を尽くしてまいります。

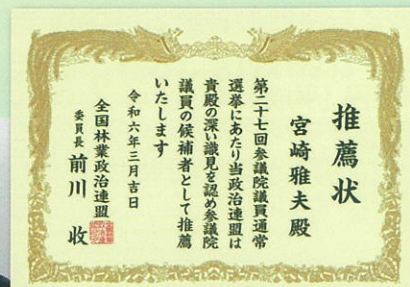
令和6年3月19日に全国林業政治連盟から次期参議院通常選挙に向け推薦を頂きました。

森林・林業関係者の負託に応えられるよう現場に足を運び、意見交換などを通じて、造林・育林コストの低減、林業生産基盤の整備、人材の確保・育成、国産材利用促進、林業の収益性などの課題を掘り下げ、現行制度の拡充・見直しや新たな制度の創設にこれからも積極的に取り組んでまいります。



全国林業政治連盟  
前川 収 委員長

全国林業政治連盟  
中崎 和久 委員



## 宮崎まさおプロフィール

昭和38年12月3日 兵庫県神戸市北区の兼業農家に次男として生まれる  
昭和57年 3月 兵庫県立兵庫高等学校卒 テニス部キャプテンとして活躍  
昭和62年 3月 神戸大学農学部農業工学科卒  
昭和62年 4月 農林水産省入省 以後本省、地方農政局、国営事業所、地方行政、海外勤務等を歴任  
平成29年12月 農林水産省農村振興局地域整備課長で退官  
令和元年 7月 第25回参議院通常選挙(全国比例) 当選  
令和3年10月～令和4年8月 農林水産大臣政務官  
現在に至る



令和元年8月1日  
国会議事堂前  
初登院

### 主な役職 (R6.4現在)

- 【国会関係】 予算委員会理事  
農林水産委員会委員  
災害対策特別委員会委員
- 【党 関 係】 参議院自民党政務調査会副会長  
政務調査会農林部会副会長  
政務調査会水産総合調査会副会長  
女性局次長  
政務調査会災害対策特別委員会事務局次長  
山村振興特別委員会事務局長  
中山間地農業を元気にする委員会事務局次長  
地方創生実行統合本部事務局次長



令和元年8月23日 農林部会

ほか

### 所属している議員連盟等

- 森林整備・治山事業促進議員連盟  
全国山村振興連盟  
森林を活かす都市の木造化推進議員連盟  
CLTで地方創生を実現する議員連盟  
循環型社会形成のための木材利用推進議員連盟  
木質バイオマス・竹資源活用議員連盟  
超党派「山の日」議員連盟  
しいたけ等特用林産振興議員連盟  
農林水産高校を応援する会

など約80議連

このパンフレットは全国森林組合連合会及び(一社)日本林業経営者協会の御協力を得て作成しています。

宮崎雅夫通信・メルマガ等の申込みは、HP又は国会事務所まで

## 宮崎雅夫後援会

宮崎まさお 🔍 検索

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目33-9 グリーンビル3F  
TEL: 03-6432-0672 FAX: 03-3432-8884  
Mail: miyazaki\_masao\_kouenkai@miyazaki-noson.jp



公式ホームページ

Facebook

LINE